関係各位　　2021 年 9 月

東京学芸大学国語教育学会
2021 年度 第４回例会のご案内

朝夕の涼しさに秋の訪れを感じる今日この頃ですが、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。学芸大学の各附属学校では、教育実習の真っ最中です。教職を目指す学生に指導しながら、共に学ぶことも少なくありません。自身の授業を見直す、貴重な機会ともなっています。

さて、予定通り、オンラインにて第４回の例会のご案内をすることになりました。多くの方の参加を、お待ちしております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長　上田真也〔東京学芸大学附属大泉小学校〕

研究主題　　思考力・想像力を育てる言葉の学び

日　時　　2021 年 10 月 9 日（土）　14：00～16：15
会　場　　ＺＯＯＭ会議室（オンライン）
ミーティング ID　　831 9081 6966
セキュリティパスコード　　1xaDSX
招待リンク
https://us06web.zoom.us/j/83190816966?pwd=Q3lhWTB0MHVwWS9JOTRmcmNqbjVKZz09

時　程　　１４：００～　　開　会
１４：１０～１５：００　　実践提案１
１５：１０～１６：００　　実践提案２
１６：００～１６：１５　　その他連絡　閉会

○実践提案　１

「友達紹介」の対話を通して、ことばの「感度」をみがく

お茶の水女子大学附属小学校　廣瀬　修也

（概要）本校の国語部では３つの観点をもとに研究を続けている。「感度・理解・拡充」である。現段階では、これらを以下のように定義付けている。

感度：学習材や他者のことばを介して，ことばに引っかかったり気づいたりすること
理解：学習材や他者のことばを介して，ことばがより深く分かること
拡充：学習材や他者のことばを介して，私のことばと世界が広がること

ことばと向き合い，自身のことばを豊かにしていこうとする子どもの姿を捉えなおしてみると，ことばへの感度を高め，ことばの理解を深め，私のことばを拡充する姿というように整理できると考えた。

本発表では，「ことばへの感度」に焦点を当てた１年生の実践事例を提案する。小学校に入学して数か月の子どもたちが，ことばをどう捉えているのか，自身の経験や他者のことばを頼りにして，ことばの意味を考えていく様子をお示しする。具体的な活動としては、「他己紹介」を行った。自分から見た友だちのことを発表する活動を通して、他者の言動に関心をもち，ことばを交わす機会を設定しようと考えた。子どもの内面で起きていることや、考えを交流する中で気づいたこと等に着目しながら、ことばの学びについて考察していきたい。

○実践提案　２

気持ちを大きく変化させたのは？～登場人物の見える性格と見えない性格から読む「まいごのかぎ」～

川崎市立東小倉小学校　森　壽彦

（概要）「あの人、意外なこと言ってる」と日常思うときがあります。それは、その人をこういう人だと捉えていたけれど、そこからは想像できない言葉を発したからではないでしょうか。「あの人ってこういう面があるんだ」と思うのは、その人の意外な性格が見え隠れしている時ではないでしょうか。物語に出てくる登場人物も同じです。性格と行動、言葉や見えにくい性格が表に出てしまうなどのズレが生じる時は、大きな気持ちの変化を起こしている合図。本単元は、登場人物の性格を多面的に捉え、それをもとに気持ちの変化を具体的に想像することをねらいとしました。性格を捉え、それを元に気持ちの変化を想像する子どもたちの姿を実践報告いたします。ご指導よろしくお願いいたします。

参加費　　無　料　　※学会員の方は年会費（一般 3000 円、学生 2000 円）をいただきます。
※年会費の納入方法につきましては、別途お知らせいたします。

・本学会は、国語科教育に関心のお持ちの方ならばどなたでも入会できます。
・本学会に関するお問い合わせは、学会事務局（東京学芸大学附属大泉小学校・上田真也 ueshin@u-gakugei.ac.jp ）までお願いいたします。
・第５回例会は、12 月 11 日（土）にオンライン（zoom 会議室）にて行います。